

「民泊向けにやんばるの自然を紹介するビデオを作る！」

ウフギー自然館には毎日多くの方が訪れますが、近年特に目立つのが民泊の方々による利用です。全国から来た生徒さんが、地元の人たちと一緒にやんばるの自然について学びに訪れます。そこで、職場体験で来ることになった国頭中学校の生徒3人に、「民泊でセンターを訪れる全国の中学・高校生に向けて、「やんばるの自然」について紹介する5分間程度のビデオを作成する！」というミッションを提示しました。わずか4日間の体験期間でしたが、3人で力を合わせ、シナリオ作りから撮影・編集まで見事にこなしていきます。宮城幸子師範が奏でる三線のBGMにのせてナレーションも吹き込み、ビデオは無事完成！ Mくん、Hくん、Jくん、1月に東京の代々木公園で開かれたイベントでも上映してきましたよ！

ここにしかない貴重な自然が、地域の人々によって守られ、育まれてきたやんばる。知れば知るほど、この地域が持っているすごい力が見えてきます。総合学習などの時間はもちろん、ふだんの授業でどう子どもたちに伝えていったら良いか、三村教員研修などを通して現場の先生方の意見をいただきながら、子どもたち自身の主体的な学習にもつながるよう、取り組んでいます。



「やんばるの自然」を民泊生徒向けに5分で紹介するビデオを国頭中2年生が作成！台本作り、編集からナレーションまで見事にこなしました。



2018年12月27日開催の三村教員向け研修。環境教育の主役を担うのは三村の先生たちです。やんばるの素晴らしい自然をどう伝えるか、一緒に考えました。



2019年1月19-20日、東京・代々木公園にて。アースガーデンという大きなイベントにて鹿児島県・沖縄県でブースを出展。計6回の講演を行い、国頭中2年生が作成したビデオも流してきました。

比地川にグリーンイグアナ!?

中田アクティブレングジャー
上開地アクティブレングジャー



今年2月21日、比地川の河口にイグアナがいる！とウフギー自然館に連絡がありました。職員N、Kがすぐに現場へ向かうと、体長130cmのグリーンイグアナが干潮になった中州を歩いていました。寒い日だったので動きが鈍く、捕まえることが出来ました。実は、2013年頃からイグアナの目撃情報が寄せられています。今回のイグアナは無事飼主さんのもとへ戻って行きましたが、もしかししたら、まだ他にもイグアナがいるかも知れません。繁殖してしまうと、すべてを捕獲する事は出来ません。もし、イグアナや見慣れない生き物を見たり、ペットが逃げてしまったら、警察やウフギー自然館までご連絡ください。

編集後記

初めまして。昨年11月より協議会スタッフとなりました、奥原陽子と申します。国頭村辺土名在住です。子供の頃から居心地の良い国頭村にずっと暮らしております(^_^) どうぞよろしくお願いいたします。
ウフギー自然館は山々に囲まれ、川の側というだけあって一段と寒い冬でしたが、近頃は暖かくなり、毎日鳥たちのさえずりを耳にしながら春の訪れを感じています。そんな四季を感じるウフギー自然館の館内は、なかなか目にする事のできない貴重なやんばるの生き物たちを知ることのできる、まるでやんばるの森を凝縮したような施設です。やんばるの森の中から、新たな地元の発見があります！ウフギー自然館へ是非、足を運んでみてくださいね。
協議会も心新たに、地域のみなさんが楽しめるイベントを企画していきたいと思っております。みなさまの沢山の参加をお待ちしています(^_^)!

やんばる自然体験活動協議会

【構成団体】国頭村・大宜味村・東村・沖縄県環境部・環境省那覇自然環境事務所

やんばる野生生物保護センター「ウフギー自然館」
〒905-1431 沖縄県国頭村字比地263-1

TEL: 0980-50-1025
FAX: 0980-50-1026

2019.3.発行

イタジイの森

もくじ

- 平成30年度 協議会イベント報告
- アクティブレングジャーと行く！お散歩観察会
- 「やんばる写真展2018」表彰式
- やんばるの春を告げる生き物たち
- 中学生ミッション「民泊向けにやんばるの森を紹介するビデオを作る！」



やんばる写真展2018 入賞作品



【自然観察賞】
Wの虹 島袋 江里奈 様



【自然の造形賞】
ザトウクジラの子供 中村 敬子 様



【シャッターチャンス賞】
森の忍者 宇良 光 様



【豊かな感性賞】
育った場所で育む幸せin辺野喜
金城 由紀乃 様



【自然の色彩賞】
妻との時間 伊佐 英夫 様



【命の代弁者賞】
みてる!?オキナワアオガエル
山中 結花 様

平成
30年度

協議会イベント報告



やんばる自然体験活動協議会主催で、今年度も色々な講演会や体験会を行いました。毎回多くの参加者で賑わい、楽しく学べた内容となりました。これからも地域の魅力が発見できるような企画をしていきたいと思ひます。今年度行ったイベントの一部をご紹介します♪

8/20 ウミガメゆんたく会



国頭村内でウミガメの産卵調査を15年以上にわたり行っている嘉陽さんから、ウミガメについて気軽なおしゃべりを通して教えてもらいました。

参加者の感想

たまにアカマタが来るのが怖かった！
/小3



11/9 みんなの知らないヤールーの話



ヤモリ研究歴25年の琉球大学・戸田先生より、ヤモリの種類やその多様性について、教えてもらいました。

参加者の感想

身近な生き物だけど意外と知らない事が多かったので、知れて良かった。
/高3



8/13 アクティブレンジャーの解剖教室



子供たちの真剣な眼差し!!



ウフギー自然館の生き物博士こと上開地アクティブレンジャー指導による解剖体験を通して、生き物の体の仕組みや生態について詳しく学びました。

参加者の感想

鳥のおなかの中からバツタがでてきて肉食だと分かりました。
/小4

12/1 草や木を染めてみよう!

つくらし=つくる×くらしの松原さん、金田さんより教わりながら、東博物館周辺の植物を採取し、羊毛を染めてみました。植物の持つ色を確かめたり、オリジナルフェルト作りにも挑戦しました。



参加者の感想

皆で草木を探している時と、どんな色になるか考えている時が楽しかった。
/中2

その他行ったイベント

- ☆ヘビの不思議
- ☆折り紙の生きもの展
- ☆アメリカハマグルマの花びら染め
- ☆やんばるの森観察会
- ☆木炭はなぜ黒い!?

*** どれも沢山の方が参加して、楽しく有意義なイベントでした ***

アクティブレンジャーと行く! 森のお散歩観察会11~2月編



1月、足元をよく見てみるとイタジイの落ち葉からと小さいキノコが... (オチバタケの仲間)



12月はほかほかお散歩日和。森の緑もまぶしかったです。



2月は雨の森。水を吸ってコケが生き生きと葉を広げていました。新緑も見られて春はもうすぐそこです。



落ち葉をかき分けると、アマビコヤステがいました。とってもおとなしい、森に暮らす可愛いヤステです。



やんばる写真展2018

今年で9回目の開催となりました「やんばる写真展2018」。応募総数50作品の中から、来館者による投票数の多かった6点を入賞作品と決定いたしました。(トップページをご覧ください) 12月23日に行われた炭焼き体験イベント「木炭はなぜ黒い!?!」の前に、入賞者の方々の表彰式を行いました。



入賞者には、漆喰人形作家岸本ウラチさんの漆喰作品をプレゼントしました。受賞者の写真に合わせて、それぞれ違う作品を作って下さいました。

12月23日(日・祝)に行った炭焼き体験イベントの前に、入賞者の方々の表彰式を行いました。入賞者から写真を撮られた時のエピソードや、込めた想いなどをお話いただき、作品たちの魅力を改めて知ることができました。



今回応募して下さった全員へ「ウフギーオリジナル缶バッチ」をプレゼント!次回も沢山の応募お待ちしております!

やんばるの春を告げる生き物たち (アクティブレンジャー上開地)

みなさんは、やんばるの春の生き物といえば何を思い浮かべますか?まぶしい森の新緑、鳥のさえずり、花から花へ飛び回るチョウやハチたちでしょうか?いえいえ、やんばるの森を見てみるともっと沢山の小さな森の住人たちが季節を通して色々な顔を見せてくれます。小さく見過ごしてしまう生き物を調べていくと、ただそこにいるだけでなく生き物同士の面白い関係性も見えてきます。

例えば、春の昆虫のオオシマカクムネベニホタルは、天敵から身を守る為に、不味い体をしていて、それを強く主張するために赤い色をしています。その性質を利用して他の昆虫たちが姿を真似します。その1つといわれているのがオキナワクビナガハムシ。「赤い体は美味しくない」と覚えている鳥たちは、このクビナガハムシも美味しくないと思って食べないのです。小さな生き物たちの生き残り戦略が少しずつ分かってくると、ますます興味がわいてきませんか?



春の虫の代表選手。気温が上がり始める2月中旬頃から見られるようになる。



オキナワクビナガハムシ

サンキライという植物の葉を食べるハムシの仲間。